

八王子 水のまちニュース

第5号
平成27年2月

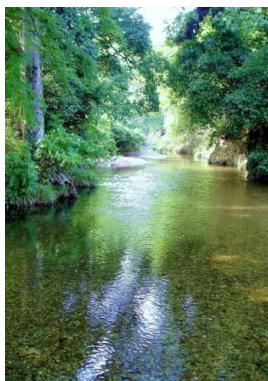
八王子市水循環部
水環境整備課
042-620-7291(直通)

第4回あさかわ写真コンクール

八王子市・日野市連携事業

入選作品が決定しました

八王子市と日野市を流れる「浅川」を題材として毎年行っており、今回は両市で348点の応募をいただきました。その中から、一次審査を経た103点について展示投票を行った結果、30点の入選作品が決定し、両市長および協賛企業より賞状・副賞が授与されました。表彰式では、両市長の対談も行われ、浅川活用に両市連携して一層取り組んでいきたいとのあいさつがありました。



一般の部 最優秀賞
「こもれび」渡邊計二さん



表彰式
(あったかホール)



中学生以下の部 最優秀賞
「小さな魚たち」舟橋にこさん

今年も第5回コンクールの作品を募集いたします。(4月1日より受付)
「浅川」の魅力あふれる作品のご応募をお待ちしております。

～カワゴケ～

コケ植物の中でも、水底の石などに付いて水中を漂うように生えているのが特徴です。「カワゴケ」と「クロカワゴケ」があり、いずれも汚れの少ない清流



にのみ生育できる、良好な水質の指標となる植物です。

八王子でも「カワゴケ」が、叶谷榎池や、泉町の水路など、水質の良いところで見ることができますが、全国的には、国の絶滅危惧種に指定されている珍しい植物です。



いずみの森小中学校の校庭にビオトープを整備しました

子安町の「六本杉公園」の湧水を引き込み、いずみの森小中学校（第三中学校）の生徒・児童の皆さんにもっと水辺に親しみを持てるよう、「流れ」と「田んぼ」を配置したビオトープを整備しました。これから、少しずつ様々な生き物が棲みついてくれることを期待しています。



木が多く手入れのしにくかった校庭南側のエリアを整理し、サクラと流水路を中心とした「水に親しめる場所」を作りました。



今後、生徒・児童のみなさんの自然学習などに活用していただくことを願っています。

校内施設のため自由に立ち入ることはできませんが、六本杉公園をはさんだ市道沿いにあり、外から様子を見ることができます。

ニジマス・ヤマメ釣りの解禁日が近づいています

もう少しで春がやってきます。行楽シーズンが待ち遠しい限りですね。自然との距離が近い八王子は、川でアユやヤマメ、ニジマスなどの様々な川魚が釣れることで知られており、毎年釣りに親しむ人が数多く見られます。

北浅川では、4月5日にニジマスとヤマメ釣りの解禁日を迎えます。これを機に、八王子の清流を訪れてみてはいかがでしょうか。季節の移ろいや自然の息づかいに感動が味わえることでしょう。

同日には放流も行われる予定です。命を育み恵みとして受け取るためにも、私たち自身が川を大切にしていかなければなりません。

※釣りを行うためには、遊漁証の購入が必要となる区域があります。恩方漁業協同組合までご確認ください。



まちの話題

「水辺の水護り制度」に登録し、高尾町で水路の保全活動を
 されている「上宿水流し隊」の皆さんにお話を伺いました。

私たちが保全活動をしている水路は、昔も今も水の流れている場所は変わりません。今は、この水を利用して米づくりをしている人はいませんが、昔、浅川市民センターの周り是一片田んぼで、そのための用水として利用していました。

また、地元では消防水利（実際に消火活動に利用したこともある）としても位置付けており、無くてはならない存在です。

現在の水路は、甲州街道の歩道下に隠れている部分も多いのですが、昔は街道の両端を開渠で流れていました。

南浅川から取水され、再び南浅川に戻るまでの間には、宅地に面した水路沿いの数軒のお宅で、水に近づけるように洗い場が作られており、いまでもその様子を見ることができます。以前は、洗濯や野菜を洗うための生活用水として、水と地域が密着していました。

田んぼの用水として利用しなくなってからも、消防水利として利用していたため、消防団が砂利などの浚渫を適時行っていました。平成 20 年頃より、地域に流れる水を大切にしたいという思いから、私たちも活動に加わりました。最初は 2 名でスタートしたこの活動も、現在は 9 名に広がりました。

平成 19 年、高尾山がミシュランガイドで最高ランク「三つ星」の観光地に選出されてから、高尾山に来られた人たちが南浅川周辺にも足を延ばしてきます。その人たちが豊富な水が流れる水路を見て、「きれいな水で癒されますね」と声をかけてくれることも少なくありません。



地域を流れる水路を守っています

この水路は、甲州街道に沿って流れ、多摩御陵南側にある黒塀の旧甲州街道脇の流れとなっており、この地域の景観になくてはならないものとなっています。

人と水との関わり合いは、昔から比べると少なくなってきたのかもしれませんが、しかし、水は豊かな自然を育みながら、人々に憩いや安らぎなどを与えてくれます。

私たちは、これからも、人と水の関わり合いを大事にしていきたいと思っています。



「隊員」のみなさん

八王子の「水」と「お酒」



八王子八十八景「下恩方の酒造場」

多摩川・秋川沿いの青梅、福生、あきる野には現在も酒造会社があり、「多摩川酒蔵街道」と名付けたPR展開が行われています。

昔は、八王子にもいくつかの酒造会社がありました。現在は小澤酒造場（八木町）を残すのみとなりましたが、下恩方町にあった「中島酒造場」は、豊富な地下水を生かして「陣馬山」「高尾山」などの日本酒を造っていました。

残念ながら平成22年に廃業してしまい、その味を愉しむことはできなくなりました。「八王子八十八景」に選ばれた頃の樹木や田んぼに囲まれたのどかな佇まいも、周辺の開発が進み過去のものとなりつつあります。

雨水を活用しましょう

そのまま流すと川や水路の増水につながる雨水も、一度貯めることで、庭の散水などに活用でき、降雨時の急激な河川の増水を抑える効果が期待できるとともに、水道水の節水にも貢献します。

市役所本庁舎や、市の一部施設でも、雨水貯留設備を設置してトイレの洗浄等に利用しています。



市では、「雨水貯留槽設置補助金」制度を設けております。

制度についてのお問い合わせは、水再生課
☎656-2282 まで

このトイレは
雨水を
利用しています

～編集だより～

アメリカザリガニ(要注意外来生物)が、原産地である北アメリカや北欧などで食されているのをご存知でしょうか。調理法はとてもシンプルで、泥を抜き、長めに塩茹でして、そのままいただくのが定番なようです。茹でただけでなく、塩焼きにしたり揚げても美味しいらしいですね。

最近、増えすぎたザリガニの駆除をするたびに「これ、食べられないのかな…！」なんて考えてしまいます。

